

11月18日(金)

15:00~18:00

対面(セミナーハウス)と
オンライン(Zoom)の
ハイブリッド開催

【参加登録】

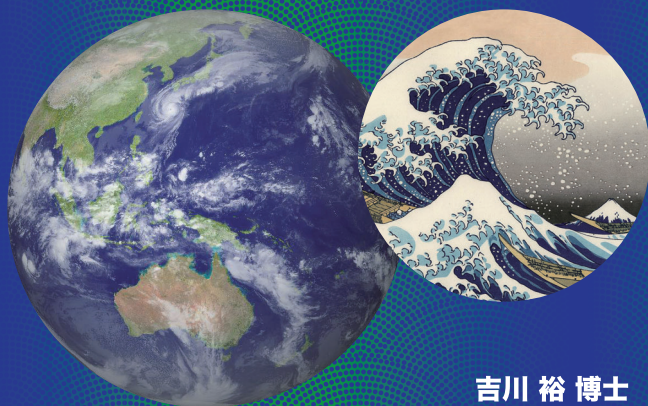
<https://forms.gle/w11spMhnXhkrfWi46>

登録されたアドレスにID・パスワードを
送付いたします。



「地球気候と海の波」

海は地球表面の70%を占め、その海は風波に覆われていることがほとんどである。風波の周期はせいぜい10秒程度であるが、最近の研究は、そのような短い周期の波が、海表面をかき混ぜて海面の水温を変化させることで、平均的な大気とその長い周期の変動、すなわち地球の気候に影響を与えていることを示唆している。しかし、流体力学の立場からは一見すると奇妙である。なぜなら、流体力学の理論に基づけば、渦なしの風波はかき混ぜを起こせないからである。この問題を、最新の数値シミュレーションをもとに解き明かす。



吉川 裕 博士

京都大学理学研究科地球惑星科学専攻 教授



第
21
回

MACS

2022

コ ロ キ ウ ム

「新触媒、新反応、新機能材料」

新しい触媒の開発は、従来不可能だった新反応の開発や従来にない画期的な特性をもつ新材料の創出などに繋がり、物質科学新領域の開拓や現代社会の発展に大きく貢献することができます。本コロキウムでは、演者らが行ってきた研究を中心に、新しい構造をもつ有機金属錯体触媒の開発、それらを用いた炭素-水素結合の活性化と変換、窒素など小分子の活性化と官能基化、さらに新規自己修復材料の創製などについて紹介します。



PROGRAM

15:00~16:00 講演 1

吉川 裕 博士 講演

16:15~17:15 講演 2

侯 召民 博士 講演

17:15~18:00 継続討論会



侯 召民 博士

理化学研究所 開拓研究本部 侯有機金属化学研究室
主任研究員 兼 理化学研究所 環境資源科学研究センター
先進機能触媒研究グループ グループディレクター

●備考

◎本コロキウムは理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学・理化学研究所に在籍されている方はどなたでもご参加いただけます。

◎学内教育プログラムに関するイベントであるため、学外・一般の方の登録は原則不可としております。
ご登録頂きましてもリストより削除させていただくことがあります。

◎問い合わせ先: macs * sci.kyoto-u.ac.jp
(*を @ に変えてください)

理化学研究所 数理創造プログラム (iTHEMS) 協賛
iTHEMS RIKEN interdisciplinary
Theoretical & Mathematical
Sciences



MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム
macs 京大 検索